



はるにれ

海老名市立有馬小学校 学校だより

令和4年11月25日号

発行者 遠藤 一義 (校長)

☆令和4年度 学校教育目標☆
夢をもって未来を切り拓く
調和のとれた子どもを育てる

よく考えすすんで学ぶ有馬の子
健康でたくましい有馬の子
心豊かで思いやりのある有馬の子

「開かれた学校」

今年度の有馬小グランドデザインに「開かれた学校」という項目があり、その中の一つに『③地域との連携・協力』という言葉が記載されています。(※学校 HP 参照)



10/25(火)に「地域とのつながり」を大切にしたい体験的に学ぶ場の確保」をメインのテーマとして学校運営協議会を開催し、実施できそうな楽しいアイデアをたくさん浮かうことができました。

農作物作り、お囃子やカローリングの体験、お神輿やお祭り、生け花やエアブラシ教室、地域の方の作品等展示スペース、YouTube 作成・配信…など、貴重なご意見をたくさんいただきました(※議事録が海老名市 HP で見ることができます)。

11/12(土)に PTA 主催で「はるにれフェスタ」が開催されました。ジャンボかるた、ヨーヨー釣りやスーパーボールすくい、ボール投げ、駄菓子屋&あてクジなど、楽しいことがたくさん詰まったイベントになり、子どもたちの笑顔あふれる時間になりました。



かつて地域と学校の間には様々な連携の形がありましたが、全国一斉臨時休校(R2/2/28 発表)から教育課程内外のものが中止や縮小の措置になりました。保護者のいない卒業式、分散登校…。その後一斉休校の措置は解除されましたが、学校で行われる学習や活動は、校舎・敷地の中で教員と児童で行うものがほとんどでした。それから2年余りの時間が経過し、あらためて児童の教育活動には地域の力が必要であると感じています。

はるにれフェスタは、PTA 本部役員をはじめありまっ子応援団や保護者ボランティアのみなさんが50人ほど集まっていたおかげで実施することができました。また、学校運営協議会でご提案いただいたアイデアの

数々も、教職員だけでは対応が難しく、地域の専門家の力をお借りすることで実現できることばかりです。

コロナ対応初期の、「学校には子どもと教職員以外の人を極力入れない」ところから、感染拡大防止と折り合いをつけながら、授業参観や運動会等で「学校に子どもと教職員以外の人を入れる」という方向に少しずつ動いてきました。そして令和5年度は、「子どもを地域の教育力で育てる」ところも、少しずつ再構築していきたいと考えています。

「公園の遊び方」



「公園での遊び方があまりよくない」という情報を何件いただきました。放課後に公園で遊ぶ児童も多いと思いますが、公園にはいろいろな人がいますので、ほかの人が不快な思いや危険を感じることをないようにしなければなりません。ご家庭でも公園の遊び方について話題にしてください。



◎MOA 美術館海老名市児童絵画作品展

★審査員特別賞

5年生 男子 3年生 女子
1年生 男子

★努力賞

5年生 女子 5年生 男子

★12月の主な行事予定★(11/25時点)

7日(水)	たてわり集会
9日(金)	イングリッシュデー
14日(水)	携帯電話教室(1,2年)
15日(金)	1年生保護者見送り(~20日)
16日(金)	非行防止教室(6年)
19日(月)	非行防止教室(3,4年)
21日(水)	読み聞かせ(1~3年)
22日(木)	給食最終日
	おはなしたまてばこ(5,6年)
23日(金)	2学期終業式

●電話対応時間について●

*通常の学校授業日: 8時00分~17時30分

*長期休業中: 8時30分~17時00分

*土曜・日曜・祝日: 終日留守番電話対応

*その他、教職員研修日等、変則的になることがあります。ご理解とご協力いただきますようお願いいたします。